

# 地域の経済動向調査

(雲南市商工会)

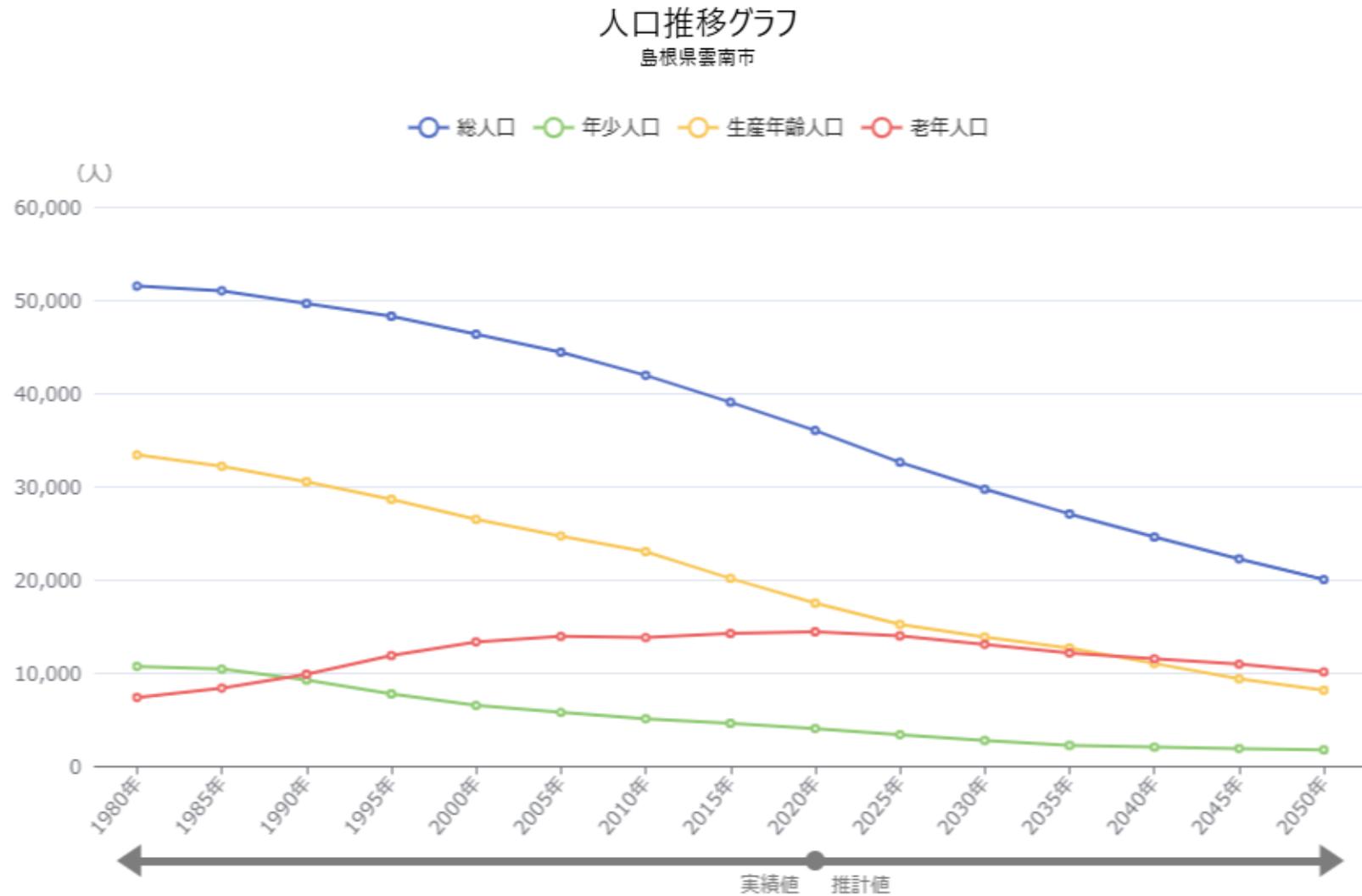
**RESAS (地域経済分析システム)** を活用した雲南市の経済動向調査

**RESAS** は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）を地図やグラフで分かりやすく「見える化」したシステムです。

誰でもインターネットを通じて、データに基づいた地域の実情を把握・分析できますので、参考にしてみてください。

RESAS の URL : <https://resas.go.jp/>

# 【人口推移】



(参照) 人口マップ > 人口構成 (島根県) > 人口推移 (島根県雲南市)

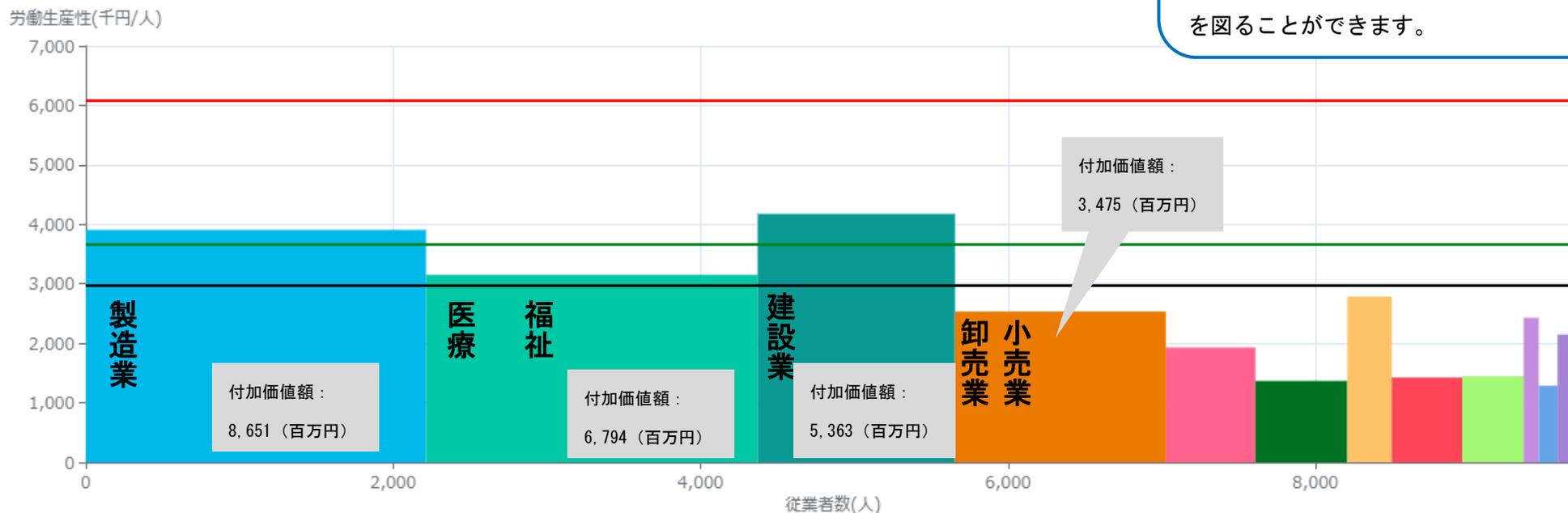
2020年の総人口は36,007人。10年前(2010年)の41,917人と比べると14.0%減少している。将来人口の推移を年齢別に見ると、2040年には老年人口が生産年齢人口を上回る見込みであり、年少人口、生産年齢人口、老年人口全てが減少傾向で推移する見込み。

# 【全産業の構造（付加価値額の構造分析）】

＜付加価値額の構造分析（付加価値額順）＞

島根県雲南市  
2021年

- 全国の平均労働生産性
- 島根県の平均労働生産性
- 指定地域の平均労働生産性



・付加価値額は、経済活動や企業の生産性を評価するのに用いられる指標です。  
 ・企業がどれだけ効率的に生産活動を行っているか、地域経済全体の活力や成長を図ることができます。

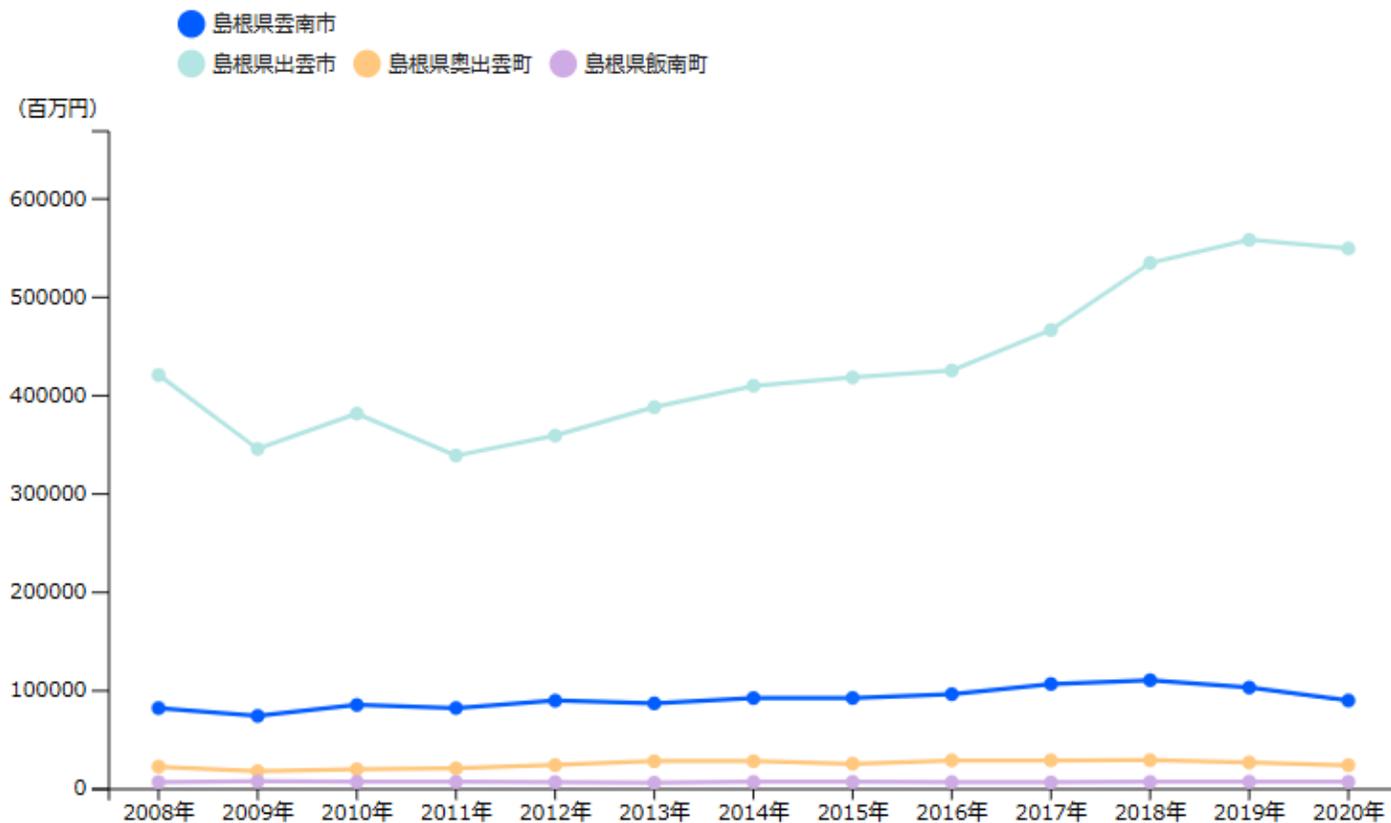
(参照) 産業構造マップ > 全産業の構造 > 付加価値額の構造分析－従業者と労働生産性から見る付加価値額－付加価値額順（島根県雲南市）

- 付加価値額は「労働生産性」×「従業者数」で求めることができる。
- このグラフでは縦軸に「労働生産性」、横軸に「従業者数」を記しており、四角の面積によって付加価値額の大きさを表している。付加価値額の要因が「労働生産性」と「従業者数」のどちらの影響を受けているのかが見て分かる。
- 2021年の雲南市では、「製造業」の付加価値額が一番大きく、続いて「医療・福祉」、「建設業」、「卸売業・小売業」と続く。

# 【製造業】(年間製造品出荷額の推移)

## 製造品出荷額等

製造業>すべての中分類



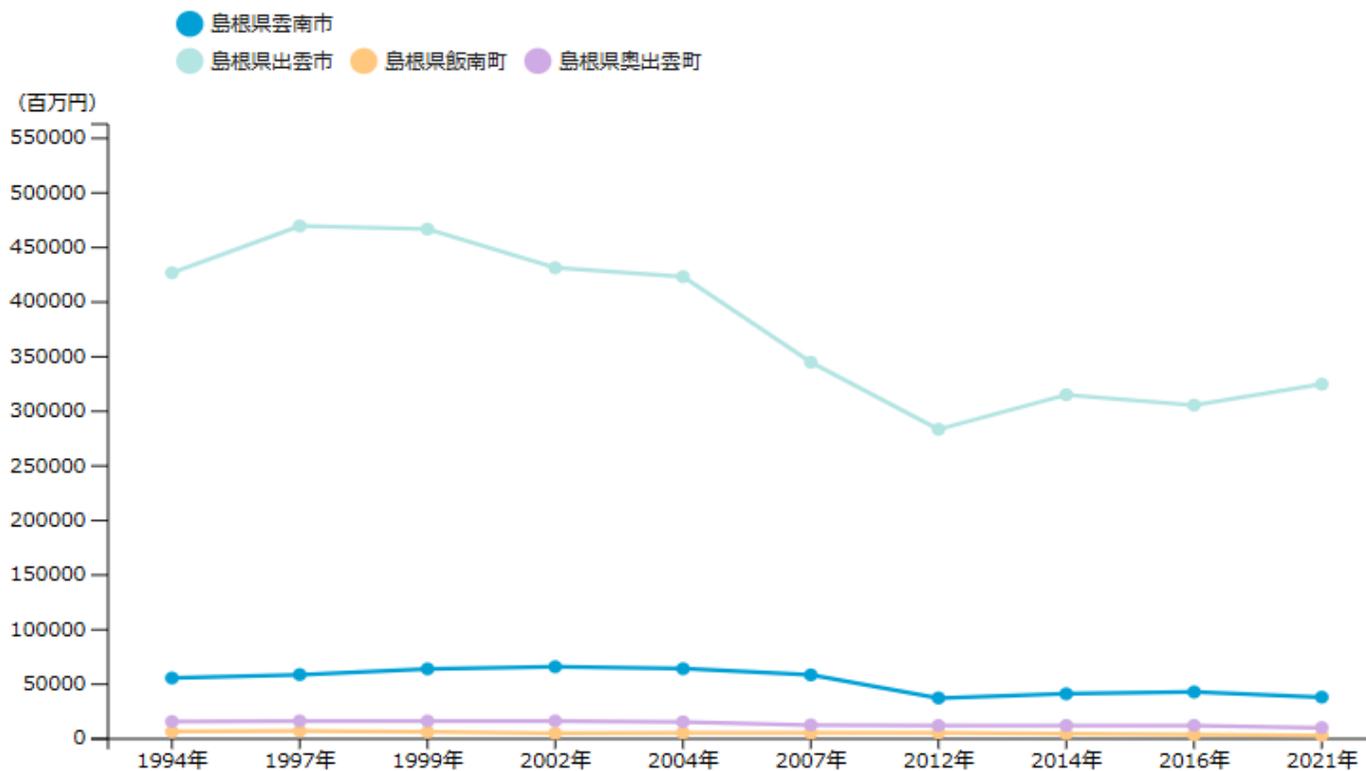
(参照) 産業構造マップ > 製造業 > 製造品出荷額 (島根県雲南市) - 2020年-グラフを表示-比較を追加

- 雲南市の製造業の年間製造品出荷額の推移を示したグラフである。雲南市の製造品出荷額は90,120百万円。
- 5年前の2015年と比較すると、2.8%減である。
- 他地域を同年比で見ると、出雲市は31.3%増、奥出雲町は5.7%減、飯南町は0.4%増となっている。

## 【小売業・卸売業】(年間商品販売額の推移)

### 年間商品販売額

すべての大分類> すべての中分類



(参照) 産業構造マップ > 小売・卸売業 > 年間商品販売額 (島根県雲南市) - 2021年 - 販売額で表示する - グラフを表示 - 比較を追加

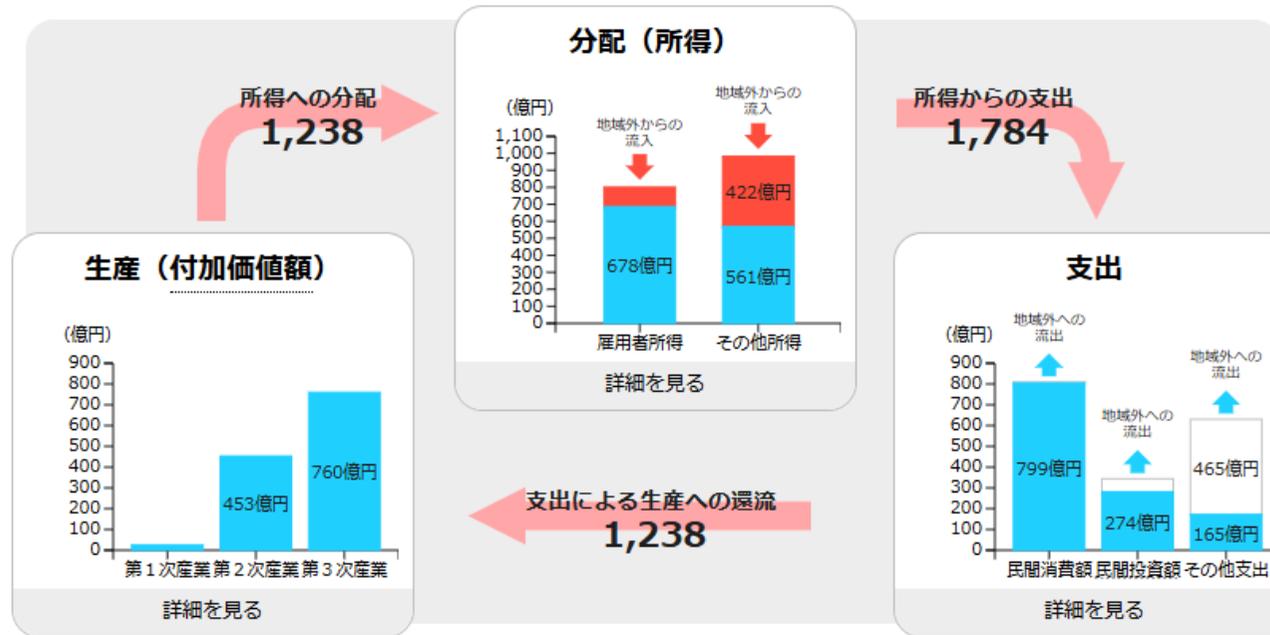
- 雲南市の小売業・卸売業の年間販売額の推移を示したグラフである。雲南市の商品販売額は38,185百万円。
- 7年前の2014年と比較すると、7.4%減である。
- 他地域を同年比で見ると、出雲市は3.1%増、奥出雲町は15.8%減、飯南町は31.5%減となっている。

# 【地域経済循環】

地域経済循環率  
69.4%

## 地域経済循環図 2018年

指定地域：島根県雲南市



(参照) 地域経済循環マップ > 地域経済循環図－島根県雲南市－2018年

- 雲南市（2018年）の企業は、合計1,238億円の付加価値を生み出している。
- 付加価値額が所得へ分配され、所得から支出される金額は1,784億円。支出額が付加価値額を上回っているのは雲南市外からの流入があるため。（雲南市外の流入のうち、雇用者所得額123億円、その他所得422億円）
- 雲南市内で支出に使われた金額は1,238億円。市外への流出があるため1,784億円より少ない。（雲南市外への流出額は、民間消費額11億円、民間投資額69億円、その他流出465億円）

地域の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出される。そして再び地域内企業に還流される。

この流れを示したものが地域経済循環図である。